

日 時：平成28年11月25日（金） 15時30分～16時40分

場 所：アクティブラーニングルーム

## 1、参加者

委員：5名 事務局：9名

## 2、報 告

- ・学校教育自己診断のまとめ
- ・校長より「第410回教職員等中央研修」について

## 3、協議内容

### 学校教育自己診断について

- ・「学校が楽しい」の項目は、どのように楽しいのか、内容を明記した設問にする方がよいのでは
- ・【3. 相談体制・人権教育】(8行目「仕方がない」)の表記について、直接関係しなかった生徒や保護者にとっては「不明」の回答が増えてしまうが、「仕方がない」の文言は適切でない。
- ・「魅力のある先生が多い」の肯定感が低いが、全員が一致して指導に当たっているため突出した先生がいないと判断してもよいのではないか
- ・部活動の加入率は40%前後であるが1年の加入率は良い。特に男子生徒が少ない人数の中、よく加入している。これが「元気な学校」という評価に繋がっている
- ・学年ごとのカラー（違い）を調べる（追跡する）必要もあるのでは
- ・エリアが進路と繋がったように、コースの特色を前面に出し進路との関係性を模索し、普総選の成果を今後活かしていくべきである。
- ・全体的に客観的な設問では「わからない」が増える傾向があるので、できるだけ主観的な設問にしておくことが望まれる。

### その他

- ・授業アンケートの振り返りは次回の協議会で発表する予定
- ・『学力向上プロジェクト』は「学力とは何か？」というところから考えていってみたい
- ・通学中あるいは校舎内移動中のイヤホン使用をなくしていきたい
- ・大学・短大共に退学する生徒が一定存在している。大学・短大は振り返り授業等の取り組みで成果を出しているが、さらに高大連携、地域連携等の取り組みを考えていきたい。

## 4、事務連絡

第3回協議会：1月27日（金）の予定で調整